



おおはら

錦江町立大原小学校 学校だより

令和2年 8月号

創立134周年（明治20年創立）

合言葉「にこにこ」「ぐんぐん」「ぼかぼか」

内省→自信→自己肯定感, 自己有用感

校長 上原一宏

今年は、夏休みが短くなりました。しかし、悪いことばかりではありません。昨年度末からの2回の臨時休校で、子供たちには自己を内省する力が身についたのではないかと感じています。例えば1回目の休校でゲームをする時間が長く、勉強する時間が少なかったなどの反省点が多かったとしましょう。でも、2回目の様子を保護者の皆さんに聞く限り、「うちの子は学校で面倒見てもらわんと、家ではなーんもせんからなー。」という意見を聞きませんでした。まだ、赴任して早々の校長にそんなことを言えなかったのかもしれないが・・・。

内省（リフレクション）とは、自分の考えや言動について深く省みることとあります。また、見慣れたものごとを別の角度から見ること（俯瞰力、メタ認知）で本質を見極めることとあります。つまり、休校のときの自分の生活を見つめ直し、明日につなげるのできる人は、よりよい生き方ができる人だと考えられます。そして、短いスパンで、小さなことでも内省を繰り返すことで自信につながります。自信を積み重ねることは、自己肯定感につながります。しかし、これは大人でも難しいことです。かく言う私も日々の生活に追いまわられて、内省せずに次に向かうことがあります。こういうときに慢心が出てきます。慢心や過信は、人の成長を止めてしまうといわれています。

さて、日本人は他国の人々に比べて、自己肯定感が低いといわれています。統計を見ると明らかで、年齢によっては他国の半分以下である場合もあります。これは、勤勉な国民性もあります。今日やった努力が素晴らしく、内省をしたところ「明日もがんばってみよう」となったとします。ところが日本人は、今日やった努力を超えないと明日の自分は褒められない国民性のようです。思い当たる節はありませんか？ですから、三日坊主をとて恥ずかしいことのように感じますね。しかし、素晴らしい努力を三日も繰り返せたときポジティブに考えることができれば、少し休んでもまた取り組もうと思いませんか？

子供が内省するとき大人は、決して他人（友達）やきょうだいと比べてはいけないと聞きました。また、自分から起きた（早い時刻でなくても褒めてあげれば明日はもっと早くなるかも・・・）、手伝いをした、自分から机に向かった等々、小さいことでも褒めてあげ、それを繰り返せたらもっと褒めてあげる。そうすることで自信となり自己肯定感へとつながっていきます。さらに、自分は家族（社会）にとって何らかの役に立っていると感じることが出来ます。これが自己有用感です。自己有用感が高まると、周囲への貢献意欲が高まります。感謝の気持ちも芽生えます。

そんなことを言われても、仕事が忙しくてとてもそんな時間が作れない、とおっしゃる方も多いでしょう。晩ご飯のとき、寝る前など短い時間で構いません。うまくできるようになれば、子供は3分もあれば内省できるようになるでしょう。あとは、どこを褒めてあげるかです。自己肯定感や自己有用感の高い子供にきっとなります。

稲を刈りました！



今年の暑さは厳しいですね。そんな中、PTA 事業部のみなさんに稲刈りの準備をしていただき、お盆明けの16日(日)でしたが、保護者の皆様のご協力もたくさんあり、今年もありがたく、無事にお米の収穫ができました。

地域の方よりスイカの差し入れもあり、汗を流した後のスイカのおいしかったこと！大原小の子供たち全員で夏を大満喫することができました！ご協力いただいたすべての皆様に心から感謝申し上げます。



残りの夏休みも元気に過ごしましょう！

23日(日) 脱穀予定(雨天の場合、学校メールにて連絡します。)

30日(日) 愛校作業(小雨決行 中止の場合、学校メールにて連絡します。)

～9月のおもな行事予定～

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1日(月) 始業式 | 20日(日) 大原小・校区運動会 |
| PTA あいさつ運動 | 21日(月) 敬老の日 |
| 10日(木) 授業参観, 学級PTA | 22日(火) 秋分の日 |
| 学校保健委員会 | 23日(水) 運動会振替休日 |
| 19日(土) 運動会準備(校区) | 24日(木) 避難訓練(火災) |